

総務教育常任委員会資料

(平成30年12月17日)

〔件名〕

- ・ 地方法人課税の偏在是正について 【税務課】・・・別冊
- ・ 不動産取得税課税に係る損害賠償請求訴訟の判決について 【税務課】・・・1
- ・ (旧) 倉吉市立河北中学校の今後の利活用方針について 【資産活用推進課】・・・2
- ・ 資料保存・修復研修会の実施について 【公文書館】・・・3
- ・ 首都圏アンテナショップの運営事業者について 【東京本部】・・・4
- ・ 首都圏における大学等との連携について 【東京本部】・・・5
- ・ 首都圏における情報発信等について 【東京本部】・・・7
- ・ 関西圏の大学と連携したUターン就職支援事業の実施状況
について 【関西本部】・・・14
- ・ 関西圏における情報発信等について 【関西本部】・・・15
- ・ 名古屋における情報発信等について 【名古屋代表部】・・・18

総 務 部



不動産取得税課税に係る損害賠償請求事件の判決について

平成30年12月17日
税 務 課

損害賠償事件の判決が12月6日に大阪地方裁判所で言い渡されましたので、以下のとおり報告します。

1 訴訟の概要

- (1) 原告 大阪府の社会福祉法人
- (2) 被告 鳥取県 及び 湯梨浜町
- (3) 請求の趣旨

原告が平成19年に取得した家屋について、平成20年度に中部県税事務所が行った固定資産評価が間違っただけであったとして、当該評価をもとにして同年10月に賦課した不動産取得税額(6,067,300円)と原告の算定税額(1,391,600円)の差額を損害額(4,675,700円)として請求した。

※湯梨浜町にも固定資産税に関して同趣旨の請求。

(4) 主張の概要

【原告】 当該家屋は法定耐用年数を過ぎていること、売却前の3年間使用されていなかったことで損傷が大きいこと等から、評価額は大幅に低くなるはずである。(県の決定税額と原告の算定税額との差額を損害額とする。)

【県】 ・固定資産評価基準及び不動産鑑定士の意見に基づいて適正に経年減点補正及び損耗減点補正を行った上で価格決定をしており、原告の主張にある耐用年数経過や損傷等は反映されている。

・原告の代理人に評価結果の説明及び不服申立の教示を行ってから3年以上を経て訴訟が提起されており、国賠請求権は時効により消滅している。

2 判決

(1) 主文

判決の言渡し 12月6日(木)大阪地方裁判所

- | |
|-------------------|
| 1 原告の請求をいずれも棄却する。 |
| 2 訴訟費用は原告の負担とする。 |

(2) 判決理由の概要

次の点等から県が職務上の法的義務に違反したとは認められず、国家賠償法上の違法性は認められない。また、時効その他の点については検討するまでもなく理由がない。

- ・課税当時の不動産鑑定に基づく損耗減点補正の判断等に特段の不合理は認められない。
- ・取得直後の現場写真からも築年相応の経年劣化を大きく超えるような損耗は確認できない。
- ・原告証人の意見書は、評価基準について知見がなく、独自の見解であり根拠がない。

3 これまでの経緯

- H19. 11. 16 原告が本件不動産を取得
- H20. 10. 1 中部総合事務所県税局が当該建物に係る不動産取得税を課税
- H27. 1. 5 大阪地裁より本件訴状(平成26年12月9日付)を受理
- H27. 6. 29 第1回口頭弁論
- H27. 8. 31
- ~H30. 6. 1 弁論準備手続(18回)
- H30. 9. 20 第2回口頭弁論(終結)
- H30. 12. 6 判決言い渡し

(旧) 倉吉市立河北中学校の今後の利活用方針について

平成30年12月17日
資産活用推進課

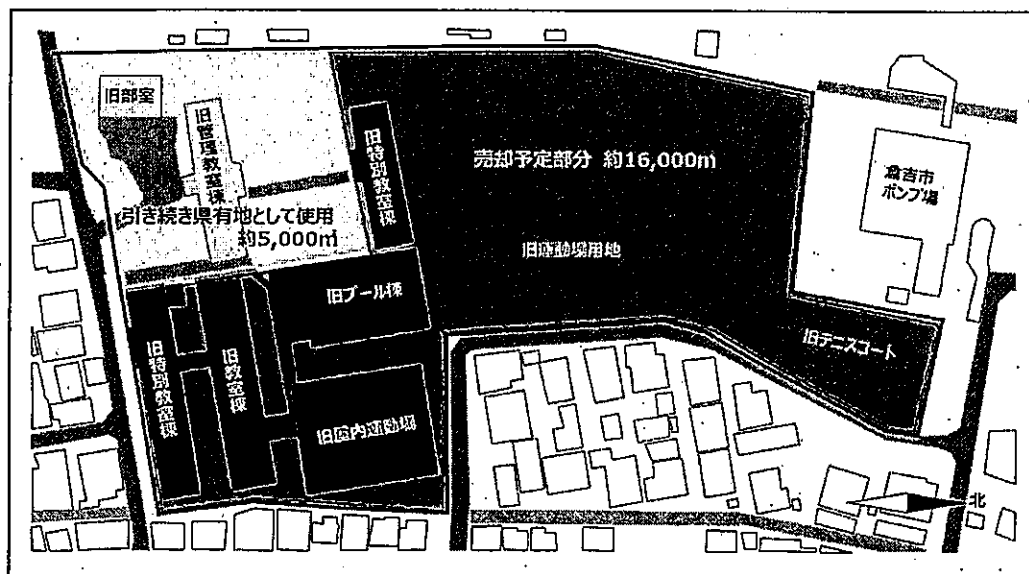
(旧) 倉吉市立河北中学校については、その一部を改修し県立中部療育園として利用することとし、2020年の開園を目指しているところです。一方、中部療育園予定地以外の土地、建物については、県、市に利活用の予定や地元等からの要望もないことから次のとおり売却を予定しています。

1 土地・建物の概要

(1) 所在地 倉吉市上井字橋ノ下503-1 他

倉吉市の都市計画上の用途地域：第一種中高層住居専用地域（建ぺい率：60% 容積率：200%）
建築可能な主な建物：戸建て・マンション、店舗兼住宅、事務所兼住宅、コンビニ等
建築不可な主な建物：床面積が10,000㎡を超える店舗や飲食店、ホテル・旅館、カラオケ店等

- (2) 現存建物 旧部室 … 現在、教育支援センター中部ハートフルスペースとして使用中。引き続き使用。
旧管理教育棟 … 現在、倉吉市立河北小学校の放課後児童クラブとして利用中。
H30～31年度に改修し、中部療育園として利用予定。
(※放課後児童クラブは河北小の敷地内に倉吉市が建設中)
旧教室棟、旧特別教室棟、旧プール棟、旧屋内運動場 … 売却（購入者が解体・撤去）
※検査の結果、いずれの建物からもアスベストは検出されませんでした。



2 利活用にあたっての県に対する地元等の意見

倉吉市、地元自治会、経済団体と意見交換を行ったところ、(旧) 倉吉市立河北中学校の利活用について意見・要望はなく、また、売却方針についても異論はありませんでした。

説明会等		年月日
自治体	倉吉市	H30. 6. 13、H30. 7. 19
地元自治会	柳町自治公民館（地元住民対象）	H30. 4. 21、H30. 10. 21
	上井地区自治公民館協議会（地元自治会長対象）	H30. 5. 9、H30. 10. 9
経済団体	倉吉商工会議所	H30. 8. 10
	上井商工連盟	H30. 8. 10

3 売却方法

建物自体に経済的な価値がなく、取壊しが妥当な建物であるため、購入者が建物を解体・撤去することを条件に、建物付きで売却する。

売却予定価格は土地の更地価格から建物の解体・撤去費を差し引いた額で設定する。

4 売却スケジュール

- 1月 分筆登記の完了、財産評価審議会の開催
2月～3月 入札公告の実施
4月 契約・所有権移転登記の完了
5月～ 購入者による建物解体・撤去（2020年3月末までに完了）

資料保存・修復研修会の実施について

平成30年12月17日
公文書館

県や市町村における歴史公文書等を適切に保存し未来へ引き継いでいくため、貴重な紙資料の保存・修復の知識の習得や簡易な修復技術を体得するための研修会を実施します。

鳥取県では、県・市町村の職員を対象にした文書修復の実技研修は、初開催となります。

- 1 日時 平成30年12月20日(木) 午前11時から午後3時まで
- 2 場所 鳥取県立図書館大研修室
- 3 主催 鳥取県立公文書館
共催 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議
- 4 出席者 県・市町村の公文書担当職員、県内の博物館・図書館の職員
- 5 内容

(1) 講演

演題：「資料保存はデジタル化の波に流されるのか？」

講師：前早稲田大学非常勤講師、元国立公文書館職員 有友 至(ありとも いたる)氏
昭和55年4月に国立公文書館に採用。以来、公文書等の修復業務に従事。修復技法に創意工夫を施すとともに、その技術を国内外に広めたことが評価され、平成21年に人事院総裁賞個人部門を受賞。

(2) ワークショップ

内容：「紙資料の修復(繕^{つくろ}い、裏^{うら}打ち)、酸性紙への対応」

紙資料修復の基本技術である繕い(破損した部分を和紙で補修)、裏打ち(破損した紙の裏全体に和紙を張って修復)の技法を実習し、簡易な修復を日常的に行うための一助とするとともに、酸性劣化する紙の特性を学ぶ。

講師：有友 至 氏

秦 博志(はた ひろし)氏(HATA Studio 代表)

【参考】今年度の「県市町村歴史公文書等保存活用共同会議」の取組状況

○県市町村歴史公文書等保存活用共同会議(5月9日)

平成29年度事業実績を報告するとともに平成30年度事業計画を協議し決定。

歴史公文書等の評価選別基準の標準例(市町村用)を決定。

○歴史公文書等の選別に関する研修会(8月3日)

演題：「太宰府市における公文書の評価選別について」

講師：太宰府市公文書館 藤田理子(ふじた まさこ)氏

○第1回部会(8月3日)

・評価選別部会

米子市を部会長に選出し、評価選別基準の標準例(市町村用)に基づいて、歴史公文書等の評価選別の取組を進めていく上での課題について意見交換。

・現用文書部会

鳥取県自治体ICT共同化推進協議会の部会と併催することを決定し、鳥取市を部会長に選出。

今年度のテーマを「システムを学ぶ」に決定。

○第2回部会(11月1日)

・評価選別部会

評価選別基準の標準例(市町村用)を活用し、実際に市町村の文書の選別作業を行うグループワークを実施。

・現用文書部会

県の電子決裁・文書管理システム稼働状況と県の中間書庫及び公文書館書庫を見学。

首都圏アンテナショップの運営事業者について

平成30年12月17日
東 京 本 部
販路拡大・輸出促進課

首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」について、再公募となった平成31年度以降の飲食店舗運営事業者を選定するため、12月10日（月）に企画提案審査会（有識者6名及び両県職員2名の計8名で構成）を実施した結果について、以下のとおり報告します。

1 再公募を実施した委託業務

- (1) 業 務 名：鳥取県・岡山県共同アンテナショップ飲食店舗運営業務
- (2) 委託期間：委託業務に関わる契約締結日から平成34年3月31日まで（2年間延長可能）

2 審査結果

4社から提案を受けて審査した結果、株式会社稲田屋本店を最優秀提案者に決定した。

○最優秀提案者の概要

- ・代 表 者：代表取締役社長 梅原 正樹
- ・本社所在地：東京都中央区日本橋2-2-3 リッシュビル3階
- ・企業概要：現在の飲食店舗の運営事業者
平成9年設立、資本金3,000万円、従業員数280名
居酒屋を東京都内に7店舗運営

○提案要旨

- ・これまでの運営経験を生かしながら、さらに食材やメニューの幅を広げ、両県の魅力をアピールする店づくりを行う方針
- ・両県の食材を使ったフェアの実施やインバウンド対策に効果的なキャッシュレス決済にも積極的に対応

3 今後のスケジュール（予定）

- 平成30年12月下旬 次期運営事業者（飲食店舗）との委託契約締結
平成31年 2月 2月定例会へ当初予算案を提出
4月1日 改修工事を開始
4月下旬 リニューアルオープン

【参考：物販店舗運営事業者の概要】

- ・事業者名：株式会社フジランド
- ・代 表 者：代表取締役 岡部 要一
- ・本社所在地：東京都千代田区平河町2丁目7番1号
- ・企業概要：フジサンケイグループの一員として、昭和33年に設立
資本金11億円、従業員数1,200名
全国のサービスエリアや美術館などで物販店舗などを運営

首都圏における大学等との連携について

平成30年12月17日
東京本部

首都圏における大学等との連携の取組について、以下のとおり報告します。

1 本県と県外大学等との協定締結状況

鳥取県出身学生等のI J Uターン就職を促進するとともに、鳥取県の地域経済を支える人材の育成や確保を目的として、9月28日に神奈川大学、11月1日に創価大学及び創価女子短期大学と就職支援協定を締結した。

今後は大学と連携しながら、学生に対して鳥取県への就職に関する情報提供やUターン就職を促進するためのイベント等の取組を進める。

(1) 連携・協力事項

- ① 学生に対する鳥取県内の企業情報、各種就職イベント等の周知に関すること
- ② 学内で行う就職相談会、企業説明会等の開催
- ③ 学生の保護者に対するI J Uターン就職に係る情報提供
- ④ 学生の就職に係る情報交換及び実績把握
- ⑤ 県内企業等における学生のインターンシップ受入の支援
- ⑥ その他学生のI J Uターン就職促進に関すること

(2) 県と県外大学等との協定締結状況 ※下線は首都圏の大学

区分	包括協定(6校)	就職支援協定(19校)	
大学名 (締結時期)	① <u>明治大学 (H21.3)</u> ② <u>龍谷大学 (H22.7)</u> ③ <u>京都女子大学 (H27.6)</u> ④ <u>京都産業大学 (H28.10)</u> ⑤ <u>青山学院大学 (H30.3)</u> ⑥ <u>中央大学 (H30.6)</u>	① 神戸学院大学 (H26.2) ② 立命館大学 (H26.7) ③ 武庫川女子大学 ④ 関西大学 (H26.11) ⑤ 同志社大学 (H27.7) ⑥ 兵庫医療大学 (H27.10) ⑦ 美作大学 ・同短期大学部 (H28.8) ⑧ 京都橘大学 (H30.7) ⑨ 神戸電子専門学校 (H28.9) ⑩ 神戸女子大学 (H29.1)	① 神戸女子短期大学 (H29.1) ・同短期大学部 (H26.7) ② 大阪商業大学 (H29.6) ③ 近畿大学 (H29.6) ④ 中央大学 (H29.7) ⑤ <u>明治大学 (H29.10)</u> ⑥ <u>専修大学 (H30.3)</u> ⑦ 京都橘大学 (H30.7) ⑧ <u>神奈川大学 (H30.9)</u> ⑨ <u>創価大学</u> ・同女子短期大学 (H30.11)

2 鳥取県学生寮での就活セミナー

鳥取県学生寮(「清和寮(女子寮)」、「明倫館(男子寮)」)で就活セミナーを行い、鳥取県出身学生(寮生)にUターン就職の意識付けを行った。

(1) 日時・場所

- ① 清和寮 10月28日(日) 11時30分～12時30分
- ② 明倫館 11月18日(日) 17時～17時30分

(2) 参加者数

- ① 清和寮 30名(44名中) 参加率68%
- ② 明倫館 45名(63名中) 参加率71%

(3) 内容

昨年人気の高かったUターン経験者の体験談を通じてUターン就職の魅力を伝えた。加えて、一般的な就職活動、Uターン就職情報の入手方法・相談先、奨学金返還の助成制度等についての情報提供を行った。

(4) 参加者の声(アンケート)

- ① 県外に就職して、最終的には鳥取へ帰ろうと思った(1年男子)。
- ② 最近では東京での就職ばかり考えていたが、今日のお話で、鳥取での就職も考えようと思った(2年女子)。
- ③ 鳥取で働くことに楽しさを感じられそうだった(2年女子)。
- ④ 今、東京が鳥取で働くか悩んでいるので、改めて考えさせてもらえる良い機会だった(3年女子)。



⇒本セミナー実施により、Uターンを選択肢の一つとして考える学生が出てきている。本セミナーのアンケート結果によると、約3割の学生が就職地を決めかねており、これらの層を中心にUターン就職をアプローチしていきたい。

<参考：鳥取県学生寮でのアンケート結果（抜粋）>

○就職先について

回答項目	女子寮(30名)	男子寮(45名)
地元へのUターン就職を希望	7名(23.4%)	9名(20%)
地元以外での就職を希望	10名(33.3%)	16名(35.6%)
どちらも検討	10名(33.3%)	14名(31.1%)
まだ決めていない	3名(10%)	6名(13.3%)

3 県外学生の発信力の活用等

早稲田大学の学園祭である稲門祭(来場者 1.5 万人)及び早稲田祭(来場者 17 万人※来場者日本一の学祭)において、鳥取県出身学生で構成された「鳥取県学生稲門会」との連携により、鳥取県の魅力をPRした。

(1) 日時

①稲門祭 10月21日(日)10時～15時

②早稲田祭 11月3日(土)・4日(日)10時～15時 ※2日間

(2) 場所

早稲田大学(新宿区戸塚町)

(3) 内容・実績

稲門祭では模擬店を出展し、鳥取県の特産品や観光等の魅力を発信するとともに、鳥取県出身学生の連帯感、ふるさと鳥取県との繋がりを強めた。模擬店には800人来場し、中には鳥取県と縁のある方々もおられ、故郷の話に花が咲くとともに、懐かしい味に舌鼓を打っていただいた。

早稲田祭では、大学の教室を借り切って鳥取県にまつわるクイズラリーや写真展、トリピーの缶バッジ作りなどを通じて、会場に来場された1,500人の方々に鳥取県を親しんでいただいた。また、境港市出身のお笑い芸人「みよーちゃん」とタレントの吉崎綾さんを招いたトークショーでは、まんが王国とっとりや鳥取の名産品を紹介した後、みよーちゃんが吉崎さんに「鳥取県内にある2つの空港の愛称は？」など、鳥取県にまつわるクイズを行い、鳥取県をテーマに大いに盛り上がった。

(4) 参加学生の声

①今回初めて早稲田祭に出展したが、クイズラリーや缶バッジ作りコーナーでは、毎年出展している稲門祭とは違う世代の層(小学生、高校生、家族連れなど)に鳥取県のPRが出来て良かった。

②早稲田大学祭は、来場者日本一の学祭なので、たくさんの方に鳥取県をPRできる非常に貴重な機会だった。

③白バラ牛乳は、東京では成城石井でしか手に入らないが、知っている人が多くて嬉しく感じた。



4 とっとり WorkWork (ワクワク) 飛行機ツアー【新規】

鳥取県出身及び鳥取県への就職に関心がある学生に対し、鳥取県内の産業・企業情勢等について認識し理解を深めてもらうため、鳥取県内企業の視察や若手社会人と意見交換等を行う。

(1) 日時

平成30年12月26日(水)・27日(木)

(2) 訪問先

大江ノ郷自然牧場グループ、株式会社JCB エクセ、株式会社LASSIC、株式会社鳥取銀行、鳥取県庁
※上記訪問先に加え、企業紹介フェア(公財)ふるさと鳥取県定住機構主催)にも参加する。

(3) 参加者数

20名(1年生6名、2年生3名、3年生11名)

平成30年12月17日
東京本部

首都圏における観光誘客、販路開拓及び移住定住等に係る情報発信等の取組について、以下のとおり報告します。

1 観光・誘客に係る情報発信の取組について

(1) 八芳園での「MATSURI JAPAN 2018」での鳥取県郷土芸能の披露

鳥取県出身者 長谷敏司 (はせ としかつ) 氏が創始者である株式会社八芳園が主催する夏祭イベント「MATSURI JAPAN 2018」に、同社からの招待により鳥取県の因幡の傘踊り保存会から傘踊りチームが出演し、因幡の傘踊りを披露した。

ア 日 時：平成30年8月23日(木)、24日(金) 午後7時～9時頃

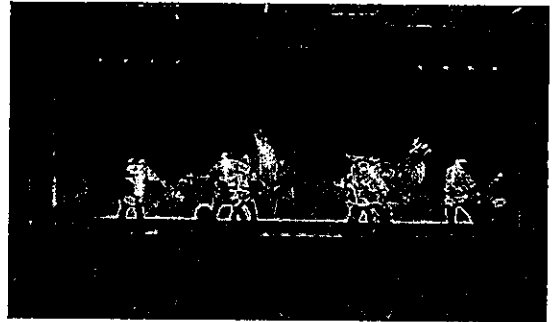
イ 場 所：八芳園(東京都港区白金台)

ウ 内 容：①両日 鳥取(因幡の傘踊り)をはじめ、東京(高円寺阿波踊り)、福岡(日向ひょっとこ踊り)、沖縄(なんくるエイサー)など全国各地のお祭りの特別公演と食事の提供など

②24日のみ、因幡の傘踊りの公演
前に知事が挨拶

エ 実績・反響等

- ・全国各地のお祭りと同じ、八芳園を訪れる富裕層の方々に向け、鳥取県と「因幡の傘踊り」をPRする良い機会となった。
- ・知事が八芳園の創始者は鳥取県出身であること等を紹介した後、迫力ある傘踊りが始まり、来場の皆さんが熱心に見入っていた。



(2) 蟹取県ウェルカニキャンペーンのPR

首都圏在住者に向け、鳥取県は「蟹の水揚量日本一」であること、また、蟹取県ウェルカニキャンペーンについて周知するため、首都圏各所で様々なイベント・フェアを実施した。

①蟹取県ウェルカニキャンペーンPRイベント

ア 日 時：平成30年9月21日(金) 正午～午後7時

9月22日(土) 正午～午後6時

イ 場 所：東京シティアイ イベントスペース(東京都千代田区丸の内)

ウ 内 容：蟹に関するセミナー開催、ウェルカニキャンペーンPRコーナーの設置、観光パンフレット等の配布、鳥取県特産品の販売、「五輝星」剥製の展示

エ 実績・反響等

- ・2日間で約7,300名が来場し、多くの方に蟹取県の魅力をPRすることができた。
- ・鳥取県への関心が高く、冬の鳥取旅行に関する質問や現地情報を求める方が非常に多かった。また、セミナーでは講師の話に熱心に聞き入る姿が見られ、「地元ならではの話が聞けて良かった」、「分かりやすい説明で最後まで興味を持てた」との声が聞かれた。



②蟹取県からトリピーがやって来た！観光PR

ア 日 時：平成30年10月28日（日）

イ 場 所：JTBイオンモール幕張新都心店（千葉県千葉市美浜区）

ウ 内 容：トリピーによる観光パンフレット等の配布、ウェルカニキャンペーンPRコーナーの設置、蟹の甲羅投げ大会

エ 実績・反響等

- ・場所柄、家族連れが多く、トリピー登場とともに人だかりができ、750部の観光パンフレットをスムーズに配布することができた。
- ・鳥取県は「蟹の水揚量日本一」であることに驚く方が多く、蟹取県の名前を周知する機会となった。

③鳥取県×editor's fav（エディターズファボ）るるぶキッチン「鳥取県は蟹取県になりましたフェア」

ア 期 間：平成30年11月6日（火）～30日（金）

イ 場 所：editor's favるるぶキッチン（東京都港区赤坂）

ウ 内 容：鳥取県産紅ズワイ蟹を使用したオリジナルメニューの提供、鳥取県産品の提供及び販売、装飾によるウェルカニキャンペーンのPR、観光パンフレット等の配架

エ 実績・反響等

- ・韓国風かに爪フライやかにみそバーニャカウダなど季節に合った目新しいメニューが多く、来店者にも好評だった。
- ・来店客が料理写真や蟹取県キャップを被った写真をSNSへ投稿することによりSNS利用世代に向けた蟹取県PRに繋がった。

(3) 明治大学・鳥取県連携講座

創設者の岸本辰雄氏が鳥取県出身である明治大学と連携し、鳥取県の歴史・文化等の魅力を首都圏で広く発信する目的で平成17年度より講座を開講しているもので、今年度は平成30年に開山1,300年を迎えた大山の歴史に関する講座を開催した。

ア 日 時：平成30年10月2日（火） 午後6時～7時半

イ 場 所：明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント 1階 多目的室
（東京都千代田区神田駿河台）

ウ 内 容：『『大山開山1,300年』山岳信仰が根付く神山の歴史』をテーマに清水豪賢（しみず ごうけん）氏（大山寺観證院 住職）による講話と清水氏と林 雅彦（はやし まさひこ）氏（明治大学名誉教授）による対談

エ 実績・反響等

- ・128名が受講し、ほとんどの方から講座に満足したと回答をいただいた。
- ・大山及び大山寺の歴史に興味を持つ方が多く「講話はユーモアを交えて分かりやすく、対談は具体的で非常に良かった」、「大山地域を訪れたくなった」旨の声が聞かれた。



(4) 韓国メディア東京特派員の知事インタビュー

今年の8月に実施した在京外国プレスツアーに参加した韓国のメディア（東京駐在）から、鳥取県の観光施策や少子化対策、移住定住対策等について知事インタビューを行いたい旨の提案をいただき、実施した。

ア 日 時：平成30年11月13日（火） 午後1時～2時

イ 場 所：とっとり・おかやま新橋館 2階 催事スペース（東京都港区新橋）

ウ 出席者：[テレビ放送局] SBS [新聞社] 朝鮮日報、世界日報、毎日経済新聞、京郷新聞の特派員 5社6名

エ 実績・反響等

- ・少子高齢化、人口流失等の問題に対し、鳥取県が講じている医療費助成や保育料無償化、移住体験住居の提供、住居改修補助制度等の施策や、観光誘客の施策に興味を持つ記者が多かった。
- ・活発な質疑応答が行われ、新聞2紙（世界日報、毎日経済新聞）にインタビューの内容が掲載された。



2 観光と物産が連携した情報発信の取組について

(1) 東京海上日動火災保険株式会社での「ようこそ！食のみやこ鳥取県特産品フェア」の開催

東京海上日動火災保険株式会社及び東京海上日動あんしん生命保険株式会社との包括連携協定に基づく取組として、平成28年度から引き続き、同社展示場にて特産品フェアを開催した。

ア 日 時：平成30年8月31日（金）午前11時～午後3時

イ 場 所：東京海上日動ビル新館 2階展示場
（東京都千代田区丸の内）

ウ 内 容

- ・二十世紀梨、新甘泉、鳥取砂丘らっきょう、ジビエ肉等の鳥取県を代表する特産品の販売
- ・二十世紀梨、新甘泉、ジビエ肉、ナッツの蜂蜜漬け、かにみそバーニャカウダ等の試食



エ 実績・反響等

- ・新甘泉、ジビエ肉、かにみそバーニャカウダ等は人気が高く、たちまち売り切れる人気だった。
- ・今回で3回目の特産品フェアで、「鳥取に旅行してきた」、「かにみそバーニャカウダは美味しいので買いにきた」といった感想もあり、効果的な県産品及び観光のPRができています。

(2) 大江戸活粋パレード「日本橋・京橋まつり」での県産品販売及び観光PR

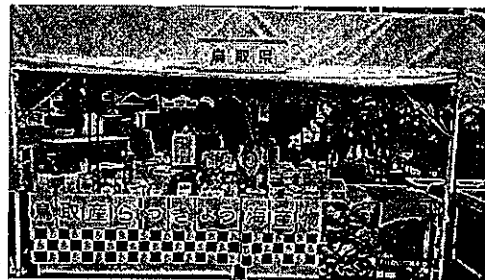
「日本橋」から「京橋」全体でパレードやイベントを行う「第46回日本橋・京橋まつり」に鳥取県ブースを出展し、特産品の販売及び観光PRを行った。

ア 日 時：平成30年10月28日（日）午前11時～午後3時

イ 場 所：中央通り（東京都中央区京橋3丁目～日本橋室町3丁目）

ウ 内 容

- ・鳥取県ブースにおいて、因幡の白うさぎ、焼きかにせんべい等の菓子類、砂丘らっきょうや生干しほたるいか等の農水産物の加工品を販売
- ・観光パンフレットの配布



エ 実績・反響等

- ・肌寒い天候であったが、たくさんのお客様で賑わい、砂丘らっきょう、焼きかにせんべいが多く売れた。
- ・主催者の事務局を担っている日本橋三越からの案内に応じて7年間継続出展し、日本橋三越との信頼関係を築くことに結びついている。

(3) あいおいニッセイ同和損保株式会社での「地方創生物産展 鳥取祭」の開催

あいおいニッセイ同和損保株式会社との包括連携協定に基づく取組として、今年初めて本社1階ラウンジにて県産品販売と観光PRを行った。

ア 日 時：平成30年11月9日（金）

物産展 午前11時～午後2時 試飲会 午後5時～6時30分

イ 場 所：あいおいニッセイ同和損保本社1階ラウンジ
（東京都渋谷区恵比寿）

ウ 内容

- ・鳥取砂丘らっきょう、生干しホタルイカ、牛骨ラーメン、かにみそバーニャカウダ等の鳥取県を代表する特産品の販売
- ・鳥取県の地酒やワインの試飲販売
- ・観光ポスターの掲示と観光パンフレットの配布

エ 実績・反響等

- ・多くの社員の方に購入いただき、因幡の白うさぎ、焼かにせんべい、かにみそバーニャカウダ等が午前中に売れ切れるほどの大盛況であった。
- ・夕方からの地酒の試飲販売も多くの社員の方に購入いただき、隣接する待合スペースで酒盛りが始まるなど、予想以上の賑わいであった。
- ・昼休憩に購入した方が「美味しかった」ということで夕方にも来ていただくなど、県産品はもとより鳥取県に関心を持っていただく良い機会となった。



3 県産品の販路拡大に係る情報発信の取組について

(1) 二十世紀梨セレモニーによるPR

千葉県から鳥取県に導入されて114年目を迎える県産二十世紀梨のPRのための販売セレモニーを開催した。

ア 日時：平成30年8月28日(火) 午前6時40分～7時30分

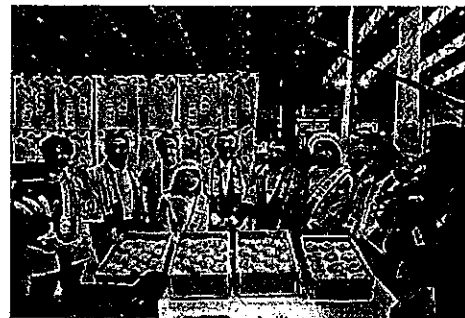
イ 場所：大田市場 東京青果株式会社
(東京都大田区東海)

ウ 内容

- ・県産二十世紀梨の試食
- ・販売セレモニー(本県選出国會議員3名出席)

エ 実績・反響等

- ・試食をたくさん用意したところ、多くの仲買人が集まり賑やかにPRできたとともに、今季の味についても「瑞々しくて美味しい」と好評であった。



(2) 県産「二十世紀梨」、「新甘泉」PRキャラバンの実施

生産量日本一を誇る「二十世紀梨」と県園芸試験場で育成され、平成20年2月に登録された赤梨「新甘泉」の首都圏における認知度向上のため、首都圏のメディアに向けたPRを実施した。

ア 日時：平成30年8月29日(水)、30日(木)
午前9時40分～午後5時

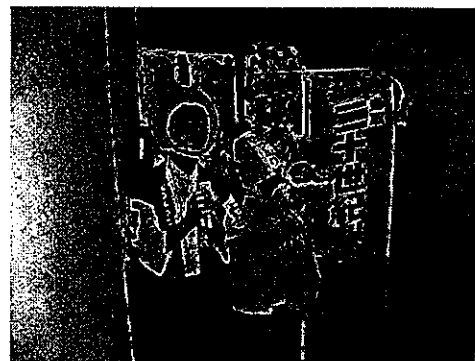
イ 場所：首都圏の各メディアを訪問

ウ 内容

- ・とっとり観光親善大使によるプレゼンテーション
- ・「二十世紀梨」と「新甘泉」の食べ比べ
- ・記事掲載用の写真撮影

オ 実績・反響等

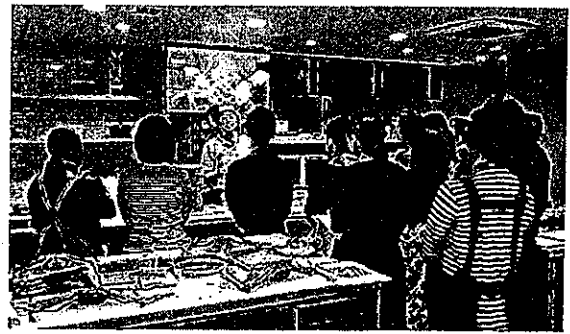
- ・新聞社、雑誌社、Web等、計11社を訪問し、記事を掲載いただいた。
- ・二十世紀梨は「瑞々しくさわやかな美味しさ」、新甘泉は「甘くて美味しい」と好評であった。



(3) 料理教室「コトラボ」での県産ベニズワイガニを食べる会の開催

料理レシピや生活便利グッズを紹介する生活実用情報雑誌のオレンジページが主催する料理教室「コトラボ」で、境港水産振興協会、かに専門卸売直販業者、造り酒屋等の地元の方を講師とし、地元ならではのベニズワイガニ料理やかに料理に合う地酒などを教わりながら、ベニズワイガニを存分に味わう料理教室を開催した。

- ア 日 時：平成30年9月29日（土）
 （1回目）午後1時30分～4時
 ／（2回目）午後5時30分～8時
- イ 場 所：コトラボ阿佐ヶ谷
 （東京都杉並区阿佐谷南）



- ウ 内 容
- ・ベニズワイガニの生態や特筆すべき栄養等についての講義
 - ・参加者1人1杯のベニズワイガニを使った料理教室
 - ・ベニズワイガニ料理に合う地酒と一緒に試食

エ 実績・反響等

- ・2回の料理教室を開催し、都内在住の主に女性の方32名の参加があった。
- ・参加者のみなさんは、かのにのばらし方から始まり、生まれて初めての体験に悪戦苦闘しながら取り組み、最後には地元でしか味わえないベニズワイガニ料理と地酒を堪能されていた。

(4) 中野にぎわいフェスタでの県産食材を使った料理販売による県産品PR

以前から交流のある中野ブロードウェイ商店街振興組合主催のフェスタに、昨年に引き続き出店し、「大山どり」や「ねばりっこ」を使った料理の販売で県産品のPRを行った。

ア 日 時：平成30年10月6日（土）、7日（日） 午前11時～午後5時

イ 場 所：中野サンプラザ前（東京都中野区中野）

ウ 内 容

- ・「大山どりのジャンボ串焼き」、「大山どりの焼き鳥」、「大山どりの唐揚げ」、「ねばりっこの素揚げ」の販売を通して県産食材の美味しさをPR

エ 実績・反響等

- ・大山どりの唐揚げは、「ジューシーで美味しい」と夕方までには売り切れるほど人気があった。
- ・多くの来場者があり、県産食材のPRができた。



(5) 百貨店、高質型スーパーマーケット等での県産品PR

百貨店や高質型スーパーマーケット等において県産品をPRする物産フェア等を行った。

ア スーパーマーケット三徳での山陰・山陽味めぐり

期 間：平成30年8月18日（土）～21日（火）

場 所：三徳新宿本店（東京都新宿区新宿）他34店舗

来店者：約140,000人

イ スーパーマーケットサカガミでの鳥取県フェア

期 間：平成30年8月24日（金）～26日（日）

場 所：サカガミ駒込店（東京都豊島区駒込）他5店舗

来店者：約18,000人

ウ 三越銀座店での鳥取フェア

期 間：平成30年8月29日（水）～9月4日（火）

場 所：三越銀座店（東京都中央区銀座）

来店者：約70,000人

エ 横浜タカシマヤでの鳥取大山フェア

期 間：平成30年8月29日（水）～9月4日（火）

場 所：横浜タカシマヤ（神奈川県横浜市西区南幸）

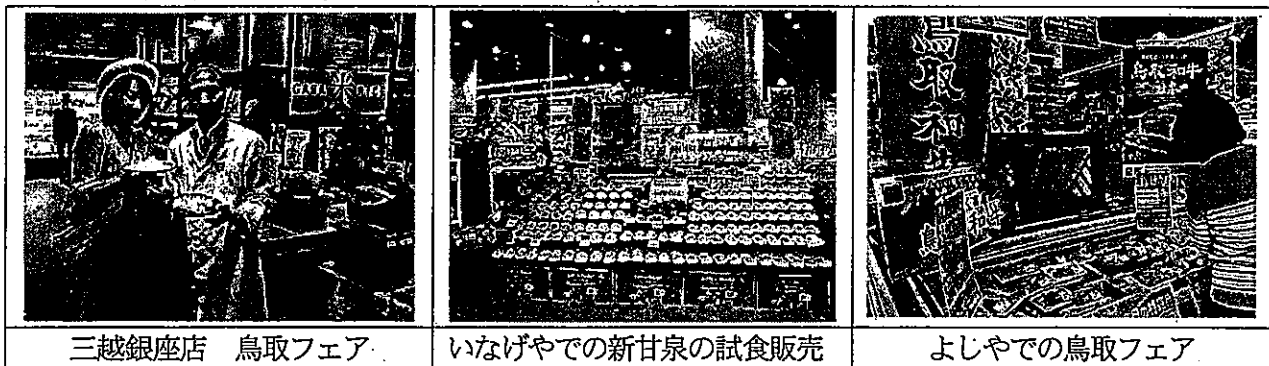
来店者：約70,000人

オ スーパーマーケットいなげやでの新甘泉の試食販売

期 間：平成30年9月1日（土）、2日（日）

場 所：いなげやららぽーと立川立飛店（東京都立川市泉町）他14店舗

- 来店者：約28,000人
- カ 伊勢丹新宿店での鳥取フェア
 期間：平成30年9月5日(水)～18日(火)
 場所：伊勢丹新宿店(東京都新宿区新宿)
 来店者：約70,000人
- キ セレクトショップご馳走えん新丸ビル店での鳥取フェア
 期間：平成30年9月18日(火)～30日(日)
 場所：ご馳走えん新丸ビル店(東京都千代田区丸の内)
 来店者：約13,000人
- ク スーパーマーケットよしやでの鳥取フェア
 期間：平成30年10月27日(土)、28日(日)
 場所：よしや中板橋店(東京都板橋区中板橋)他11店舗
 来店者：約24,000人
- ケ 伊勢丹相模原店での鳥取フェア
 期間：平成30年11月7日(水)～13日(火)
 場所：伊勢丹相模原店(神奈川県相模原市南区相模大野)
 来店者：約70,000人
- コ スーパーマーケットスズキヤでの冬の山陰フェア
 期間：平成30年11月21日(水)～23日(金)
 場所：スズキヤ鶴沼店(神奈川県藤沢市本鶴沼)他4店舗
 来店者：約15,000人



4 ハローワーク・移住定住に係る情報発信の主な取組 《転職フェアへの出展》

昨年7月3日に東京本部内に開設した県立東京ハローワークの認知度を上げ、登録者を増加させる機会を得るため、求職者からの知名度や信頼度が高く、発信力・集客力がある大手転職サイトの主催する「転職フェア」など、可能な限り多くのイベント等に参画し「打って出る」取組を行った。

ア 日時・場所

- ・DODA転職フェア
 日時：10月11日(木) 午後2時～9時
 場所：東京ドームシティプリズムホール
 (東京都文京区後楽)
- ・リクナビはじめての転職フェア
 日時：11月24日(土) 午前11時30分
 ～午後6時
 場所：東京国際フォーラム(東京都千代田区丸の内)



イ 実績等

- ・DODA転職フェア(38名受付)、リクナビはじめての転職フェア(54名受付)ともに多くの転職希望者との面談の機会を得た。
- ・首都圏での転職フェア参加者へのPRを通して、就業・居住の場所にこだわらない方、地方

への移住を希望する方を発掘する貴重な機会となった。当日の面談者をフォローアップし、コンタクトを継続していくことにより、鳥取県内での就業につなげていきたい。

5 今後の情報発信の取組について

今後とも鳥取県の旬の特産品、特色のある観光素材、魅力的な移住定住や企業誘致等の情報発信について、積極的に展開していく。

(1) 観光・誘客関係

イベント名	時期	場所	内容
旅行代理店での観光PR	平成30年12月22日、24日	HIS銀座店（中央区銀座）、HIS新宿店（渋谷区千駄ヶ谷）	旅行代理店の店頭にて蟹取県ウェルカニキャンペーンをPR
中国ブロック観光情報説明会	平成31年2月21日	都道府県会館（千代田区平河町）	旅行代理店、メディアを対象にした観光情報説明会を開催
日野郡PRイベントの実施	平成31年2月中	とっとり・おかやま新橋館（港区新橋）	旅行読売出版社とタイアップした観光・物産PR

(2) 販路拡大関係

イベント名	時期	場所	内容
スーパーマーケット三徳での山陰・山陽フェア	平成31年1月19日～22日	スーパーマーケット三徳各店舗	県産品の販売
スーパーマーケットよしやでの鳥取フェア	平成31年2月1日～28日	スーパーマーケットよしや各店舗	県産品の販売
中国料理トゥーランドット臥龍居での鳥取フェア	平成31年2月8日	中国料理トゥーランドット臥龍居（港区赤坂）	県産食材を使った料理の提供
小田急百貨店新宿店での鳥取特集	平成31年2月中	小田急百貨店新宿店（新宿区西新宿）	県産品の販売

(3) 移住定住支援関係

イベント名	時期	場所	内容
とっとり WorkWork（ワクワク）飛行機ツアー	平成30年12月26日～27日	鳥取県内（企業等、鳥取産業体育館）	県出身の大学生の県内企業への訪問、企業紹介フェアへの参加
地域の魅力発信！移住交流フェア2018	平成31年2月3日	東京国際フォーラム（千代田区丸の内）	IJUターン希望者との面談
地方創生プロジェクト「移住・交流フェア」	平成31年2月23日	ベルサール渋谷ガーデン（渋谷区南平台町）	IJUターン希望者との面談

関西圏の大学と連携したUターン就職支援事業の実施状況について

平成30年12月17日
関 西 本 部

関西圏の各協定大学及び(公財)ふるさと鳥取県定住機構と連携し、県内企業の協力を得ながら県内出身学生を主対象とした直接的な情報提供と意見交換等の就職支援行事を順次実施し、鳥取県内への就職意識の醸成や就職活動に向けての不安解消、学生・企業等によるネットワーク形成を図っています。

1 とっとり就職カフェ・理系学生向け業界研究セミナー

県内企業・団体関係者(とっとり就活サポーターを含む)による業務や日常生活についての説明、(公財)ふるさと鳥取県定住機構による鳥取就職やインターンシップの説明及び内定を得た先輩学生との意見交換・交流等を実施した。(H29実績:8大学9回84名参加)

実施日	実施場所	参加企業・団体等	参加学生数
11/17(土)	立命館大学(茨木) ※理系向け【新規】	日本セラミック(株)、ミネベアミツミ(株)、日本電産マシナリー(株)	2名
11/17(土)	立命館大学(茨木)	日本セラミック(株)、日本電産マシナリー(株)、(株)鳥取銀行、県人事委員会事務局、県中小企業団体中央会	5名
11/19(月)	龍谷大学(深草)	(株)山陰合同銀行、(株)ケイズ、中央高等学園専修学校、県人事委員会事務局、県中小企業団体中央会	10名
11/21(水)	関西大学(千里山) ※理系向け(福井との共催)	日本セラミック(株)、ミネベアミツミ(株)、アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)、セーレン(株)	15名
11/28(水)	関西大学(千里山)	(株)山陰合同銀行、気高電機(株)、県人事委員会事務局、県中小企業団体中央会	14名
12/1(土)	京都女子大学	第一生命保険(株)、県教育委員会事務局、県人事委員会事務局、県中小企業団体中央会	8名
12/7(金)	近畿大学(東大阪)【新規】	(株)山陰合同銀行、県人事委員会事務局	3名
12/11(火)	神戸学院大学(ポートアイランド)	(株)山陰合同銀行、鳥取生活協同組合、鳥取市(管理栄養士)、県医療・保険課、県人事委員会事務局、県中小企業団体中央会	6名
<p><今後予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/9(水) 龍谷大学(瀬田) ※理系向け【新規】 ・1/11(水) 京都橘大学【新規】 ・1/16(水) 京都産業大学 ・1/24(木) 大阪商業大学【新規】 ・2/1(金) 神戸女子大学(須磨) ・2/7(木) 武庫川女子大学 <p style="text-align: right;">} 内容調整中</p>			

2 第8回とっとり就活準備ゼミ in 大阪

- (1) 期日・場所 平成30年12月15日(土)・龍谷大学 大阪梅田キャンパス
(2) 概要 内定を得た先輩学生と(株)マイナビによる講演、鳥取インターンシップの紹介、県人事委員会事務局と県警警務課の説明、各講師との質疑応答など。(H29実績:参加学生27名)

3 とっとり就活アカデミー in 大阪【新規】

- (1) 期間・場所 平成31年1月～3月(計7回予定)・鳥取県関西本部交流室
(2) 概要 平成32年3月卒業予定者を対象に、企業研究、エントリーシート対策、公務員対策、面接対策などの座学や模擬演習の機会を順序立てて提供する。

関西圏における情報発信等について

平成30年12月17日
関 西 本 部

関西本部では、各種イベントの開催や各種媒体を活用し、ウェルカニキャンペーンなどの観光情報の発信やズワイガニ、白ねぎ、ブロッコリーなどの県産品のPRを行い、鳥取県の認知度向上と関西から鳥取県への誘客や販路開拓・消費拡大につなげる取組を行っています。

1 鳥取県のPRイベントの開催・参加状況

(1) 中四国9県観光物産展の開催

- ①実施日：平成30年8月31日（金）、9月1日（土）
- ②場 所：天神橋筋2丁目商店街（大阪市北区）
- ③主 催：在阪中四国県事務所協議会
- ④概 要：大阪に事務所を持つ中四国9県が特産品販売の促進、観光情報の発信等を目的に、合同で観光物産展を行い、鳥取県の特産品の販売及び鳥取県の観光PRを行った。

(2) 鳥取県観光物産展 in あべのハルカス近鉄本店の開催

- ①実施日：平成30年9月8日（土）、9日（日）
- ②場 所：あべのハルカス近鉄本店（大阪市阿倍野区）
- ③主 催：関西本部
- ④概 要：二十世紀梨、加工品、化粧品の宣伝販売等を行うとともに、大山開山1300年祭、ウェルカニキャンペーン等鳥取県観光PRを行った。

(3) 鳥取県観光フェア（鳥取県へウェルカニ）の開催

- ①実施日：平成30年10月8日（月・祝）
- ②場 所：JR大阪駅時空の広場（大阪市北区）
- ③主 催：関西本部
- ④概 要：ステージでウェルカニキャンペーンなど鳥取県の秋冬の観光PRを行った。9月28日（金）から10月15日（月）に開催されたフラワーアートミュージアム2018では、とっとり花回廊による花壇の展示を行い、同ミュージアムへの来場者も含め多くの方に鳥取県の観光情報を発信することができた。

(4) JR北新地駅における「がんばろう！西日本キャンペーン」への参加

- ①実施日：平成30年10月8日（月・祝）
- ②場 所：JR北新地駅（大阪市北区）
- ③主 催：JR北新地駅（協力：鳥取県、島根県）
- ④概 要：7月豪雨で影響を受けた県内観光地への誘客を図るため、JR北新地駅と連携し山陰方面への鉄道を利用した旅行や鳥取の旬の観光情報を発信した。

(5) 道頓堀リバーフェスティバル2018への出展

- ①実施日：平成30年10月13日（土）、14日（日）
- ②場 所：湊町リバープレイスから日本橋までのリバーウォーカー帯並びに大阪ミナミエリア（大阪市中央区・浪速区）
- ③主 催：（一社）大阪活性化事業実行委員会
- ④概 要：大阪ミナミで地元の商店会・企業等が参加して開催される秋のイベントに、鳥取県の民間事業者・観光関係者・行政がまとまって参加し、テントブースでの観光PR・物販とステージでの観光PRを行った。

(6) 鳥取県産食材を使ったスイーツづくり及び観光情報発信イベントの開催

- ①実施日：平成30年10月19日（金）
- ②場 所：グランフロント大阪（大阪市北区）
- ③主 催：鳥取県関西本部
- ④概 要：働く女性を対象に鳥取県の食材を使ったスイーツづくりを実施し、併せて鳥取県の観光情報を発信した。32名の定員に対し223名から応募があり、イベント後に「星を見に鳥取に行きたい」などの声も多く聞かれ、満足度の高いイベントとなった。

(7) 西武高槻旅フェスタへの出展

- ①実施日：平成30年11月4日(日)
- ②場所：西武高槻店(高槻市)
- ③主催：JR西日本高槻駅、西武高槻(協力：中国地方5県)
- ④概要：JR高槻駅、西武高槻及び中国地方5県が連携し、がんばろう！西日本キャンペーンや周遊ふっこう割などのPRのほか各自治体のPRを行った。鳥取県のステージではじゃんしゃん傘踊りも披露し会場を盛り上げた。

(8) 京都サンガファミリーイナダスペシャルデーへの出展

- ①実施日：平成30年11月10日(土)
- ②場所：西京極スタジアム(京都市右京区)
- ③主催：京都パープルサンガ
- ④概要：大山町に工場があるファミリーイナダとの縁もあり、京都サンガのイベントに参加した。ブースでの体験コーナー(鳥取の砂を使ったストラップづくり)に多くの来場者があり、ウェルカニキャンペーンを中心とした鳥取県の旬の観光情報を効果的に発信することができた。

(9) JR高槻駅コンコースでの物産・観光PR

- ①実施日：平成30年12月6日(木)、7日(金)
- ②場所：JR高槻駅コンコース(高槻市)
- ③主催：JR高槻駅、鳥取県関西本部
- ④概要：地元の利用客数が多いJR高槻駅で銘菓やらっきょうなどの販売PRを行うとともに、がんばろう！西日本キャンペーン等の観光PRを行った。鳥取県物産販売では予想を上回る売れ行きがあり、また用意した観光パンフレットのサンプリングも全てなくなるなど鳥取県の物産、観光ともに効果的にPRすることができた。

2 県産品の主なPRの状況

(1) 「ごちばら鳥取味めぐり」でのPR

- ①実施日：平成30年10月31日(水)～11月6日(火)
- ②場所：大丸京都店(京都市下京区)
- ③概要：県内6食品加工事業者が出展し、焼き鳥、椎茸、海藻などの販売と観光のPRを行った。昨年度に比べて1社あたりの平均売上額が上がり好評であった。

(2) 「第7回鳥取県フェア松葉がに祭りIN堺中央総合卸売市場」でのPR

- ①実施日：平成30年11月17日(土)
- ②場所：堺中央総合卸売市場及び大起水産株式会社街のみなと堺店まぐろパーク(堺市北区)
- ③概要：旬のズワイガニ(松葉がに・親がに)、かに汁、鳥取地どりピヨの唐揚げ、白ねぎ、ブロッコリーなどの販売、かに釣り、ピング大会、おどり屋笑ったいによるすずこ踊り等により鳥取県をPRした。当日は、早朝からかに釣りに行列ができ、農産物も完売するなど、大変好評であった。

(3) 「鳥取フェア」でのPR

- ①実施日：平成30年11月14日(水)～25日(日)(販売PRは11月14日(水)、17日(土)、18日(日)に実施)
- ②場所：大丸松坂屋高槻店(高槻市)
- ③概要：旬のズワイガニ(松葉がに・親がに)、アカモク、白ねぎ、ブロッコリー、王秋梨や、とうふちくわ、銘菓などの販売と観光のPRを行った。お客さまから「鳥取出身だから懐かしい。」とか、売場担当者から「通常の販売より売上が上がっている。」といった声があり好評であった。

(4) 「わったいな！とっとり市 in 箕面」でのPR

- ①実施日：平成30年11月22日(木)
- ②場所：箕面郵便局(箕面市)
- ③概要：県東部の旬の産品や県産品の販売と観光のPRを行った。旬のズワイガニ(松葉がに・親がに)や梨、椎茸、野菜が完売するなど、大変好評であった。

(5) 阪神梅田本店での鳥取県産ズワイガニと王秋梨のPR

- ①実施日：平成30年11月23日(金・祝)
- ②場所：阪神梅田本店(大阪市北区)

③概要：旬のズワイガニ（松葉がに・親がに）と王秋梨を試食宣伝販売によりPRした。当日は、ズワイガニはほぼ完売、王秋梨も通常に比べて売上が上がり好評であった。

(6) 「第3回鳥取県かに祭り」でのPR

①実施日：平成30年11月24日（土）

②場所：京阪百貨店前カナディアンスクウェア（守口市）

③概要：旬のズワイガニ（松葉がに・親がに）、紅ズワイガニ、かに汁、白ねぎ、ブロッコリー、ねばりっこ、地酒・ワインなどの販売を行ったほか、かに釣り、ステージイベントや、パンフレット配布等により鳥取県をPRした。当日は、多くのお客さまが来場され、かに汁が完売するなど大変好評であった。

(7) その他の取組

実施日	場所	内容
10月1日(月) ～11月30日 (金)	ホテルモントレグラスミア大阪 (大阪市浪速区)	「鳥取和牛オレイン55フェア」において、プレミアムベアランチを提供した。
11月7日(水)	阪神梅田本店（大阪市北区）	初水揚げされた県産ズワイガニを販売PRした。
11月9日(金) ～11日(日)	ピーコックストア千里中央店 (豊中市)	「鳥取県フェア」において、旬の農産物（白ねぎ、ブロッコリー、梨、柿など）や加工品などを販売PRした。
11月11日(日)	大阪府中央卸売市場（茨木市）	旬の農産物（白ねぎ、ブロッコリー、王秋梨など）を販売PRした。
11月16日(金) ～18日(日)	あべのハルカス近鉄本店（大阪 市阿倍野区）	「鳥取物産コーナー」で取扱の梨フルーツらっきょうドレッシングなどを販売PRした。
11月21日(水) ～27日(火)	西武高槻店（高槻市）	「かにづくし」フェアにおいて、県産ズワイガニを販売PRした。
11月27日(火) ～28日(水)	越井木材工業（大阪市住之江区）	「鳥取フェア」において、県産銘菓、乳製品などの販売PR、社員食堂での県産食材（カニクリームコロッケ、ねばりっこ、とうふちくわなど）を使ったメニューを提供した。
12月7日(金)	相愛大学（大阪市住之江区）	ヤマトシジミと白ねぎをテーマに食育を行った。
12月8日(土)	阪急うめだ本店（大阪市北区）	県産ズワイガニを販売PRした。
12月14日(金)	生野勝山郵便局（大阪市生野区）	八頭町の特産品と県産加工品を販売PRした。
12月15日(土) ～16日(日)	堺中央総合卸売市場及び大起水産株式会社街のみなと堺店まぐろパーク（堺市北区）	「第9回天下の台所・大阪祭り」において、県産ズワイガニを販売PRした。

(8) 県産食材のブランド化の取組

実施日	場所	内容
11月9日(金)	メゾン・ド・タカ芦屋（芦屋市）	・県産食材ブランド化勉強会をニホンジカ解体処理者、船上活メサワラの生産者を交えて行った。 ・生産者の研鑽と関西有名料理人（3名）の県産食材に対する理解の浸透及び新たな取引につながった。
11月19日(月) ～20日(火)	県内県産食材生産現場 (農産4カ所、畜産2カ所、林産1カ所、水産2カ所)	・関西有名料理人による秋冬期の県産食材生産現場の視察を行った。 ・提案した県産食材の取引につながった。
11月26日(月)	日本料理 翠（大阪市中心区）	・県産食材ブランド化勉強会で関西有名料理人（3名）を対象に、秋冬期の県産食材（ズワイガニ、船上活メサワラ、鳥取和牛など）の提案を行った。
11月30日(金)	レストランパティスリージェイエス（大阪市福島区）	・県産食材ブランド化勉強会で関西有名料理人（2名）を対象に、県産食材（ズワイガニ、船上活メサワラ、梨、柿、トマト、蜂蜜など）の提案を行った。

名古屋における情報発信等について

平成30年12月17日

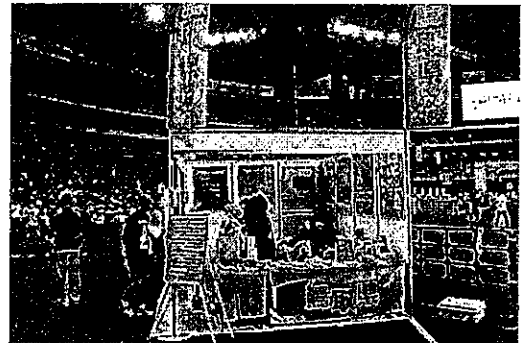
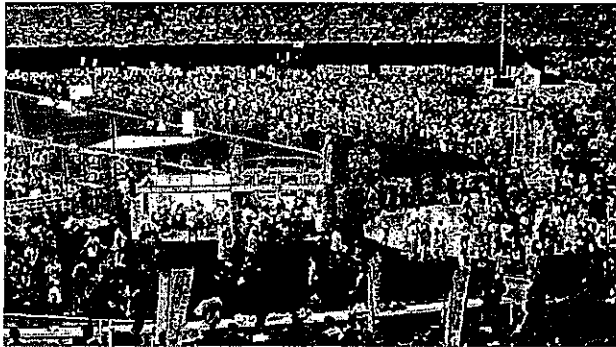
名古屋代表部

1 鳥取県の観光情報の発信

(1) ナゴヤドームでのPR【実施済】

今回で11回目を迎える大型スポーツイベント（6時間リレーマラソン）において、県の観光PR、ミニイベントなどを行いました。

- ① 日時：9月22日（土）
- ② 場所：ナゴヤドーム（名古屋市東区）
- ③ 参加人数：約3万人（選手1万5千人含む）
- ④ 内容：観光情報冊子等の配布、大型ビジョンでの鳥取県プロモーションビデオ放映、砂絵制作等のミニイベントなど
- ⑤ 効果等：大山開山1300年祭やスポーツイベント等を中心に鳥取県の魅力を発信できました。来場者から行ってみたいなどの感想や個別の観光地の問合せなどがありました。



(2) JR名古屋駅中央コンコースでのPR【実施済】

松葉がに解禁の時期に合わせ、東海地区で乗降客が最も多い名古屋駅中央コンコースで、ウエルカニキャンペーンのPRイベントを行いました。

- ① 日程：11月10日（土）、11日（日）
- ② 場所：JR名古屋駅中央コンコース
- ③ 主催：名古屋代表部
- ④ 内容：観光大使によるPRステージ、ご当地クイズや観光資料の配付など
- ⑤ 効果等：ジェイアール名古屋タカシマヤとのイベント連動により、松葉がにや県内観光地を効果的にPRできました。



(3) 「ふるさと全国県人会まつり2018」でのPR【実施済】

東海地区の県人会が中心となり、ふるさとの特産品の販売や郷土芸能を披露し、地域の魅力を紹介する「ふるさと全国県人会まつり」が開催され、鳥取県のPRや特産品の販売を行いました。

- ① 日 時：9月8日（土）、9日（日）
- ② 場 所：久屋大通公園（名古屋市中区栄）
- ③ 参加団体：東海鳥取県人会、名古屋代表部
- ④ 内 容：鳥取県ブースでの二十世紀梨、大山ハム等の特産品の販売や鳥取県のPR、ステージでの県人会長による鳥取県紹介や「大山僧兵太鼓」の披露など
- ⑤ 効果等：大山僧兵太鼓の披露などにより、開山1300年を迎えた大山や鳥取県の観光をPRすることができました。

(4) 今後の予定

<高速道路サービスエリア（SA）でのPR出展>

新名神高速道 新四日市～亀山西JCT間が平成30年度内に開通することから、来年度の鳥取西道路開通も併せ、近くなる鳥取をPRするため、東海地方のSAで最も立ち寄り客が多い刈谷ハイウェイオアシスでブース出展する予定です。

- ① 時 期：3月上旬の2日間
- ② 場 所：刈谷ハイウェイオアシス（伊勢湾岸自動車道）
- ③ 参加団体：名古屋代表部、県観光連盟
- ④ 内 容：アクセスマップや観光パンフレットの配布、鳥取にちなんだミニゲームなど
- ⑤ 立寄者：約6万人（休日）

<観光イベントでのブース出展>

全国の観光や旅行関係者が集まる「旅まつり2019」に、県内観光関係者と共に参加し、ステージ鳥取県の観光PRや特産品の販売などを行う予定です。

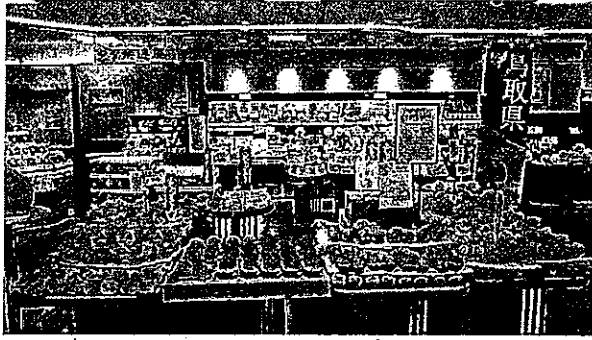
- ① 時 期：3月中旬の2日間
- ② 場 所：久屋大通公園（名古屋市中区栄）
- ③ 参加団体：名古屋代表部、県観光連盟、県内観光関係者
- ④ 内 容：観光パンフレットの配布、ミニゲーム、PRステージなど
- ⑤ 来場者数：約30万人

2 県産品の販路拡大

【梨フェア】

(1) ジェイアール名古屋タカシマヤ【実施済】

- ① 日 程：8月29日（水）から9月4日（火）まで（うち1日（土）、2日（日）は試食宣伝実施）
- ② 場 所：ジェイアール名古屋タカシマヤ 地下2階食品売場
- ③ 内 容：二十世紀梨、なつひめ、新甘泉、秋栄の試食宣伝販売と観光パンフレットの配架
- ④ 結果等：名古屋のお客様は赤梨志向であるためか、試食をお出しすると圧倒的に「新甘泉」を選択される方が多かったものの、販売数は、二十世紀と新甘泉が3割強でほぼ同割合でした。



(2) (株)ヤマナカ「フランテ」【実施済】

- ①日 程：9月1日(土)、2日(日)
- ②場 所：フランテ8店舗(うち八事店、覚王山店の2店舗で試食宣伝を実施)
- ③内 容：二十世紀梨、なつひめ、新甘泉の試食宣伝販売、秋栄の販売
- ④結果等：二十世紀梨が約6割弱、新甘泉が4割弱であった。お客様の評価は、中高年の方からは二十世紀を評価する声が多く、新甘泉は、若者、女性からの人気が高いようでした。

【かにフェア】

(3) ジェイアール名古屋タカシマヤ【実施済】

- ①日 程：11月10日(土) 11日(日)
- ②場 所：ジェイアール名古屋タカシマヤ 地下2階食品売場
- ③内 容：松葉がに、親がにの試食宣伝販売
- ④結果等：初日の開店後、昨年を大幅に上回る長蛇の列となり、午後3時には完売となりました。売上は前年比40%増でした。試食されたお客様からは、「甘い、美味しい」との声を多数いただくとともに、お店からも、これだけ売れるのかと驚きの声もいただきました。



(4) (株)ヤマナカ「フランテ」【実施済】

- ⑤日 程：12月1日(土) 2日(日)
- ⑥場 所：フランテ8店舗(うち八事店、覚王山店の2店舗で試食宣伝を実施)
- ⑦内 容：松葉がに、親がに、白ねぎ、ブロッコリーの試食宣伝販売
- ⑧結果等：白ねぎの天ぷらは甘くて美味しいと高評価でした。白ねぎ、ブロッコリーとも低めの価格設定でコンスタントに出ていました。かには訳あり松葉がに、親がに中心の販売となりました。